

第11回「井戸ばた会議」

〈町民と議員との対話〉

12月5日(水)、バスターミナルにて開催しました。今回の参加者は8名です。

テーマ持ち寄り方式で、議会から「認定こども園」、参加者から「9月定例会一般質問」、「吉本興業との連携」の3つのテーマになりました。

フリーテーマのテーブルも設け、4つに分かれて、途中自由に移動しながら1時間程度の対話を行った後でテーマ毎に簡単な壁新聞を作成しました。

最後に壁新聞を全体で共有し、ご意見用紙への記入、個別の対話の時間を設けて



終了しました。

今回も多様なご意見をいただきましたので、一部をご紹介します。

認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと保護者の幸せが第一 交付税の増額分でスタッフの充足や処遇改善をすべき
一般質問	<ul style="list-style-type: none"> 農業をもっと伸ばすべき 商業高校生が町外流出しないよう農業を法人化して雇用できないか 高齢者福祉施設ではなく、支え合う公営住宅にできないか
吉本興業	<ul style="list-style-type: none"> 町政の流れではなく吉本にプロデュースしてもらう 新人芸人を下川で育てて大物にする
その他	<ul style="list-style-type: none"> ペットと一緒に福祉施設はどうか 利用者にとっては上階のペットに会いに行くことがリハビリになる

勉強会を重ねていきます

子どもの頃からエネルギー教育



恒例となった枝廣淳子氏との勉強会を12月11日(火)に開催しました。今回は「環境エネルギー」がテーマです。環境自治体のモデルとされるながら、実は太陽光パネルの設置率が全国平均と比べて低い等、枝廣氏からの情報提供を元に意見交換をしました。

下川は木質エネルギーで名を馳せたが、総合的ではない。まず省エネからでは。エネルギー政策は投資。リスクも含めた長期的な時間軸で判断しなければいけない。行政は単年度の予算組

の中で議会はどうか。モニタリングしていくか。子どもの頃からのエネルギー教育・投資について学ぶ場が必要。といった意見が出ました。

総合計画外で政策を行わない原則の確立

自治基本条例制定など町とのご縁の深い、北海道大学名誉教授の神原勝氏をお招きし、議会活性化で取り組んできたことの総点検の意味で、12月26日(水)に勉強会を開催しました。



前町政からの課題だった町民参加が新町政になって改善しないことから、自治基本条例の町民参加の条項を中心に議会改正案をま

とめたことについて意見交換をするうちに話題は総合計画に。

武蔵野市や道内の栗山町では、総計外の政策は行わ



ない原則を確立し、必要な場合は総計を修正してから進める、実施計画の策定は、選挙後に長の公約を含めて行うのが望ましい、といったお話をいただきました。その他にも傍聴者発言を許している犬山市議会の例など様々な事例に刺激を受けましたので、残り少ない任期ですが、最後まで議会活性化に努めます。